

北海道釧路湖陵高等学校（定時制）

令和４年度 学校評価（１）

【評価】 ４：とてもそう思う ３：すこしそう思う ２：あまりそう思わない １：まったくそう思わない

対象	今年度の目標	実践計画	評価の観点	評価 平均	評価の内訳			
					4	3	2	1
教務部	①観点別学習評価を導入する。	①観点別学習評価がスムーズに進むよう、研究や支援を行う。	①-1 観点別学習評価への移行を進めることができた。	3.3	2	6	0	0
			①-2 授業評価を活用した授業改善を行うことができた。	3.1	1	7	0	0
	② ICT 機器を活用した授業実践に取り組む。	②ICT 機器効果的に活用できるよう、関係組織と協力して支援を行う。	②ICT 機器を授業に活用することができた。（追加）	3.1	2	5	1	0
	③総合的な探究の時間の内容を充実させ、他の教育活動との連携を高める。	③総合的な探究の時間を有効に活用できるよう、体制の整備を進める。	③ベーシックスタディを指導するための横断（教科・学年）体制を構築できた。	2.6	2	2	3	1
	④きめ細かな学習支援に努める。	④学習支援員など地域の教育力を活用しながら、生徒の実態に合わせた学習支援を行う。	④生徒の学習状況の定期的な把握を行うことができた	3.1	3	3	2	0
生徒指導部	①生徒の学校生活を見守るため、休み時間・授業中の巡回を行い、指導すべき言動について、粘り強い声かけを継続する。	①始業前・休み時間・授業中・放課後の巡回を適宜実施する。生徒の問題行動があった場合には、複数の教員で指導にあたる。軽微な問題行動についても、職員全体に周知し粘り強く声かけを行う。いじめアンケート（２回）を実施し、問題があった場合は職員全体で解決にあたる。	①-1 生徒は安定した学校生活を送ることができた。	3.3	2	6	0	0
			①-2 いじめの問題に適切に対応することができた。（早期発見、認知時の初期対応等）（追加）	3.8	6	2	0	0
	②コロナウイルス感染状況を確認しながら、生徒会活動の実施を生徒に検討させる。	②各行事の企画・実施・反省まで、生徒が中心となって考え実践できるよう支援する。コロナウイルス感染状況を確認しながら、生徒会活動の精選・実施の可否を生徒自身に検討させる。	②-1 生徒会執行部による自主的な取り組みが見られた。	3.5	6	1	0	1
			②-2 学校行事を通じて協働する力の向上が見られた。	3.9	7	1	0	0
	③問題行動の指導のあと、教育相談的な事後指導を継続する。	③特別指導後の生徒に対し、担任・生徒指導部長と事後指導計画を立案し、継続的な事後指導を行う。必要であれば教育相談的な指導を行う。	③事後指導後の生徒に改善状況は見られた。	3.3	2	5	0	0
	④基本的な生活習慣の確立に努める。	④遅刻・欠席の指導は担任が中心となるが、改善傾向が見られない場合には担任・生徒指導部・教務部と協議し指導する。中抜けについては、生徒指導事故として担任と共に指導する。	④遅刻・欠席が減少した。	1.8	0	1	4	3
	⑤ネットトラブル防止のため、啓蒙活動とパトロールを行う。	⑤１年次には携帯電話安全教室を行う。（６月）ネットパトロールについては３回実施予定。（６月・１０月・１月）	⑤ネットトラブルの件数は減少傾向にある。	2.5	0	5	2	1
	⑥特別な支援を必要とする生徒について情報収集し、支援の充実を図る。	⑥サポート会議での生徒情報、Ｑ－Ｕ検査の内容については、教職員全体に周知する。スクールカウンセラーの来校は１１回を予定。	⑥-1 サポート会議を通じて情報共有ができた。	3.6	5	3	0	0
			⑥-2 スクールカウンセラーと提携できた。	3.4	4	3	1	0

【評価】 ４：とてもそう思う ３：すこしそう思う ２：あまりそう思わない １：まったくそう思わない

	今年度の目標	実践計画	評価の観点	評価 平均	評価の内訳			
					4	3	2	1
進 路 指 導 部	①入学時からの継続したキャリア教育を行う	①キャリア教育計画に沿った入学時からの進路指導を全職員の連携を図り組織的に実施する。	①低学年におけるキャリア学習が実施できた。	3.8	6	2	0	0
	②三修制対象生徒への計画的な進路指導を行う。	②三修制対象生徒を上級学年進路学習に参加させ、計画的な進路指導を行う。	②三修制対象生徒の学習意欲が維持された。	3.5	4	4	0	0
	③基礎力診断テストの結果を活用した進路指導を行う。	③教務部および教科担任との連携による基礎力診断テストを活用した継続的な学習指導・進路指導と事後ガイダンスを実施する。	③基礎力診断テストの分析と結果を活用した面談が実施できた。	3.1	3	3	2	0
	④キャリアパスポートや進路のしおりを活用して進路学習を行う。	④キャリアパスポートや進路のしおりを活用して、自己理解を深めさせ自ら進路を切り拓く力を育成する進路学習を行う。	④キャリアパスポートや進路のしおりを活用したホームルーム活動が実施できたか。	3.6	5	3	0	0
	⑤外部機関との連携による進路指導をより効果的にするため、事前指導を行う。	⑤LHR、総合的な探究の時間を活用し、事前・事後指導を含めた進路学習の充実を図る。	⑤実施要領へ事前指導の位置づけを示し、目標達成のための効果的な指導が実施できたか。	3.5	4	4	0	0